

各常任委員会の 主な質疑から

総務防災常任委員会

問 放射線に関する講習会を昨年度は十回、今年度も一回開催しているが、その成果と課題はどうか。

答 参加者から「分かりやすい説明でよく理解できた。」などの声があり、正しい知識の普及について一定程度の成果があったと考えている。

今後の内容や時期については、アンケートや電話相談等の意見を参考に検討していきたい。

総合企画水道常任委員会

問 県は、県水道局と九十九里地域・南房総地域の用水供給事業との統合に関する具体的な案を、市町村等へ提示し、説明したとのことだが、市町村からは意見などが出たのか。

また、今後はどのように進めていくのか。

答 五月末に実施した説明会では、市町村等から、「市町村ごとの負担金額をどのように決めるのか。」「末端給水事業の統合はどうするのか。」「できるだけ早く統合を進めてほしい。」などの質問や要望が出されたことから、改めて意見交換のための会議を開催するなど、今後も市町村の意見をよく聞きながら、理解が得られるように進めていきたい。

健康福祉常任委員会

問 介護基盤緊急整備等臨時特

例基金事業の期限が残り一年となった中で、介護施設等のスプリングラー未設置施設の解消に向け、今後、どのように取り組んでいくのか。

答 対象施設への直接の補助事業者である市町村に対し、担当部課長会議において助成制度の説明や資料提供を行い、対象施設に対する働きかけを促すとともに、未設置の施設に対しては、直接、助成制度や低利な融資制度の周知を積極的に行い、未設置施設の解消に向けて努力する。

環境生活警察常任委員会

問 住宅用省エネルギー設備導入促進事業について、どのように周知していくのか。

答 補助事業を実施する市町村はもとより、関係団体に対してもあらゆる機会を通じて働きかけを行い、積極的なPRに努めていきたい。

商工労働企業常任委員会

問 千葉の観光戦略に関して、観光振興の取り組みは、地域ごとに単発で進んでいるが、点から線、線から面へと、千葉県全体が潤うため、具体的な施策を打ち出すべきだと思いがどうか。

答 千葉県の基盤は、圏央道の延伸、成田空港発着枠の三十万回化、アクアライン八百円化等により、優位性が高まっていると認識している。それを千葉県全体にどう生かしていくかが重要である。

観光立県を推進基本計画を策定していく中で、地域資源を掘り起こし、それを束ね、面的に千葉県全体を発展させていくような方向性を打ち出していきたい。

農林水産常任委員会

問 宮城県が水産特区を設け、また、国による東北三県の漁港の復旧復興が進んでいく中で、産地間の競争が激化することが予想されるが、千葉県の漁港の整備について、どう考えているのか。

答 千葉県の漁港整備方針としては、銚子漁港等において高度衛生管理型市場の整備を進めるなど、産地間競争に負けない拠点漁港の整備を進めるとともに、県内漁港施設の老朽化対策や堤防施設の津波対策など、使いやすく安全な漁港の整備を進めていくこととしている。

県土整備常任委員会

問 今後、社会資本について、「予算不足による構造物等の機能・サービス水準の低下」「老朽化する構造物の増加に伴い、維持、更新を行うための職員数の不足」また、「増加する老朽化構造物への対応により、新規投資が困難になること」が懸念されているが、このことについて県の認識、見解はどうか。

答 これらについては、将来に向けた課題として、全国どこでも共通してあり得る。特に千葉県は昭和三十年代、四十年代にかなり社会資本を整備したということもあり、その傾向は、他県よりもやや大きいと思われる。

県としてはこれらの課題に対して、今後、新たな法制度での対応も含め、検討していきたい。

文教常任委員会

問 本年度の一般会計予算に占

める教育予算の割合が前年度に比べ減っている理由は何か。

答 平成二十五年度六月補正後の予算における教育予算の割合は二五・三％であり、前年度当初予算と比べ、一・〇ポイントの減となっている。

その理由は、退職手当制度の見直しや給与減額支給措置の実施など、人件費の減額によるものである。

なお、教育施設の耐震化の推進や特別支援学校の過密化対策など、喫緊の課題に必要な予算は確保できていると考えている。

常任委員会委員									
委員会名	総務防災	総合企画水道	健康福祉	環境生活警察	商工労働企業	農林水産	県土整備	文教	
現員/定数	12/12	10/12	12/12	12/12	11/12	9/11	12/12	12/12	
委員長	瀧田 敏幸 (自民党)	松下 浩明 (自民党)	中台 良男 (自民党)	武田 正光 (自民党)	山本 義一 (自民党)	鶴岡 宏祥 (自民党)	林 幹人 (自民党)	内田 悦嗣 (自民党)	
副委員長	関 政幸 (自民党)	中沢 裕隆 (自民党)	木村 哲也 (自民党)	村上 純丈 (自民党)	坂下しげき (自民党)	實川 隆 (自民党)	小池 正昭 (自民党)	齊藤 守 (自民党)	
委員	自民党	穴倉 登 遠藤 澄夫 佐藤 正己 木名瀬捷司 石毛 之行	伊藤 和男 本間 進 阿井 伸也 江野澤吉 鈴木 衛	浜田 穂積 川名 寛章 石橋 清孝 佐野 彰 伊藤 昌弘	河上 茂 山口 登 山中 操 信田 光保 大松 重和	田中 宗隆 渡辺 芳邦 秋山 光章 亀田 郁夫	酒井 茂英 小高 伸太 伊藤 勲 木下 敬二	本清 秀雄 宇野 裕 皆川 輝夫 鈴木 昌俊 今井 勝	阿部 絃一 岡村 泰明 吉本 充 西田三十五 白井 正一
	民主党	堀江 はつ 田中 信行	湯浅 和子 網中 肇	竹内 圭司 横堀喜一郎	河野 俊紀 岩井 泰憲	天野 行雄 中田 学	高橋 浩 磯部 裕和 石井 敏雄	石井 宏子 矢崎聖太郎	
	公明党	塚定 良治		赤間 正明	藤井 弘之	横山 秀明	阿部 俊昭	石川 信一 秋林 貴史	
	共産党	小松 実		丸山 慎一				加藤 英雄 岡田 幸子	
	市社無		小宮 清子	入江 晶子	ふじしろ政夫	山本 友子			
	みんな					松戸 隆政		水野 文也 川井 友則	
	千維声	ブリティ長嶋			佐藤 浩				
	生活						大川 忠夫		

平成25年9月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

月 日	議事・委員会予定	開議予定時間
9月26日(木)	開会日	午前10時～
10月 2日(水)	質疑並びに一般質問	〃
3日(木)	〃	〃
4日(金)	〃	〃
7日(月)	〃	〃
8日(火)	〃	〃
9日(水)	〃	〃
11日(金)	常任委員会 (健康福祉・文教)	〃
15日(火)	〃 (総合企画水道・商工労働企業)	〃
16日(水)	〃 (環境生活警察・県土整備)	〃
17日(木)	〃 (総務防災・農林水産)	〃
22日(火)	閉会日	午後1時～

※本素案はおおよその日程であり、招集日前の議会運営委員会にて協議し最終決定します。

議会において同意・選出された委員・議員

監査委員	石橋 清孝 (自民党) 湯浅 和子 (民主党)
競馬組合 議会議員	佐藤 正己 (自民党)
君津広域 水道企業団 議会議員	川名 寛章 (自民党)

(平成25年7月2日現在)

議会運営委員会委員		
現員/定数	16/16	
委員長	阿井 伸也 (自民党)	
副委員長	石毛 之行 (自民党)	
委員	石橋 清孝 鈴木 昌俊 白井 正一 木下 敬二 鈴木 衛 瀧田 敏幸 林 幹人 村上 純丈 中沢 裕隆 (自民党)	
	田中 信行 竹内 圭司 横堀喜一郎 (民主党)	
	秋林 貴史 石川 信一 (公明党)	
	丸山 慎一(共産党)	
	小宮 清子(市社無)	
	松戸 隆政(みんな)	
	ブリティ長嶋(千維声)	
	大川 忠夫(生活)	
	外員	
	議員	

(平成25年7月2日現在)

ちば中学生県議会決議文

自然災害に強い安心して暮らせるちばづくりに関する決議

平成23年3月11日に発生した、東日本大震災での地震・津波により、東北地方をはじめ千葉県でも多くの方が犠牲となり、住み慣れた家や街が大きな被害を受けました。

今も、復旧・復興に向けた取り組みが一生懸命行われていますが、今後も、首都直下型地震や東海地震など、大規模地震の発生が想定されているほか、近年頻発している、ゲリラ豪雨や地滑りなどの土砂災害など、発生時期の予測しにくい自然災害が増えています。

自然災害をなくすことは不可能です。しかし、被害を最小限に抑えるための防災対策は、みんなの努力があれば可能です。

防災対策は、誰かがやってくれば大丈夫というものではありません。自助・共助・公助と言われるように、みんながそれぞれの立場で、できることを確実に実行することが重要です。

そのため、まず、私たち一人ひとりが、家の中の安全対策や非常用具の準備、避難経路の確認など、普段からの災害に対する備えをしておくことが大事です。

また、地域では、学校等と協力した防災教育の実施や自主防災組織の整備を進め、地元の災害危険個所の確認や避難等で援助を要する人への対応検討、地元企業等との協力体制の構築など、災害発生時に地域で助け合う体制づくりが必要です。

そして、行政には、津波対策では津波防護施設の整備や津波避難ビル等の指定・整備、地震対策では建築物の耐震化促進などの減災対策が求められます。

このように、自助・共助・公助の取り組みが合わさることで、自然災害による被害を最小限に抑えることができると考えます。

こうしたことから、ちば中学生県議会では、私たち中学生をはじめ、家族、地域、行政、民間事業者の人たちなど、すべての県民がそれぞれの役割を果たし、災害による被害をできる限り防ぎ、抑え、少しでも犠牲者を減らすための取組みを推進し、「自然災害に強い、安心して暮らせるちば」を実現するため、一層努力していくことを、強く希望します。

以上、決議する。

平成25年6月5日

ちば中学生県議会